

白鷹町における生活支援体制整備 協議体委員会の活動状況について

白鷹町のすがた

笑顔かがやき 心かよう 美しいまち

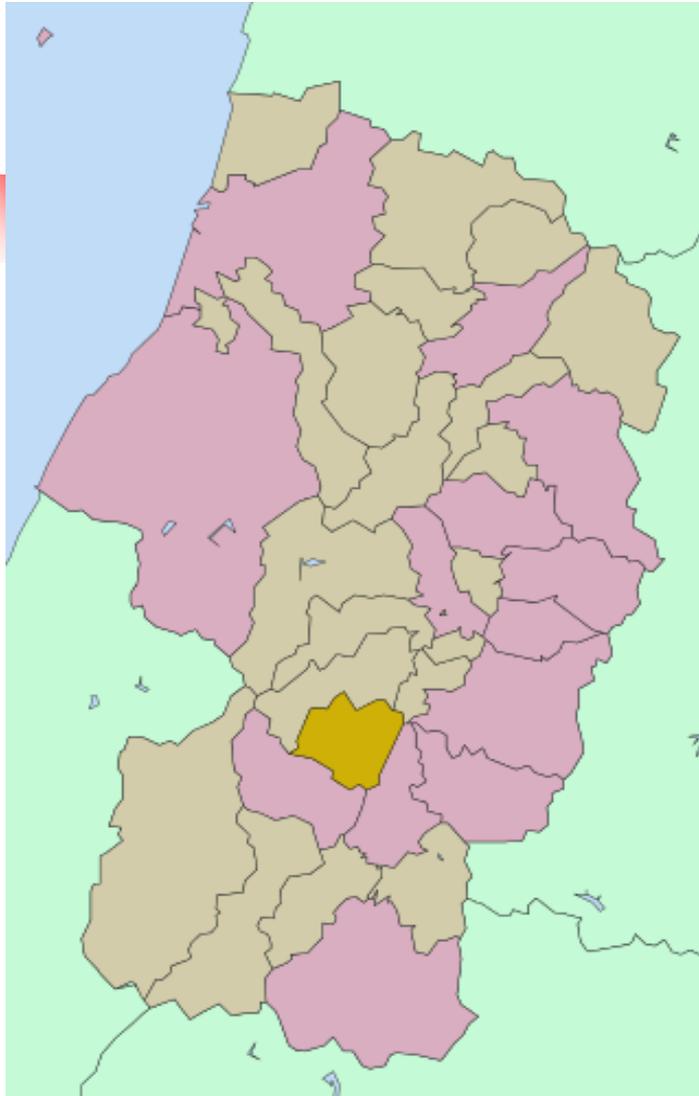
◆地勢

県南部置賜盆地の北部に位置し、東西約17Km 南北16kmで、ほぼ正方形に近い形をしており、総面積は157,71km²です。町の中央部を南から北へ貫流する最上川をはさみ、西は朝日連峰、東は白鷹丘陵に向けて盆地が形成されています。

◆紅花生産日本一

◆特産品 名物

鮎、深山和紙、深山和紙人形、白鷹紬、天蚕紬、地酒、紅花、ミニトマト、そば、アケビ、赤すもも、カシスなど



50km





健康と福祉の里づくり構想

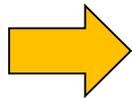
■ 平成5年 健康と福祉の里構想

医療・福祉・介護を一体化して地域で高齢者を支える体制づくりを進めた

＝基本理念＝

- ・自らの健康は自らが守る
- ・我が家の健康ドクターは健全な白鷹の里
- ・町民みんなが福祉の受け手、担い手

・平成9年 白鷹町立病院新築 健康福祉センターを併設



医療・福祉・介護の一体化

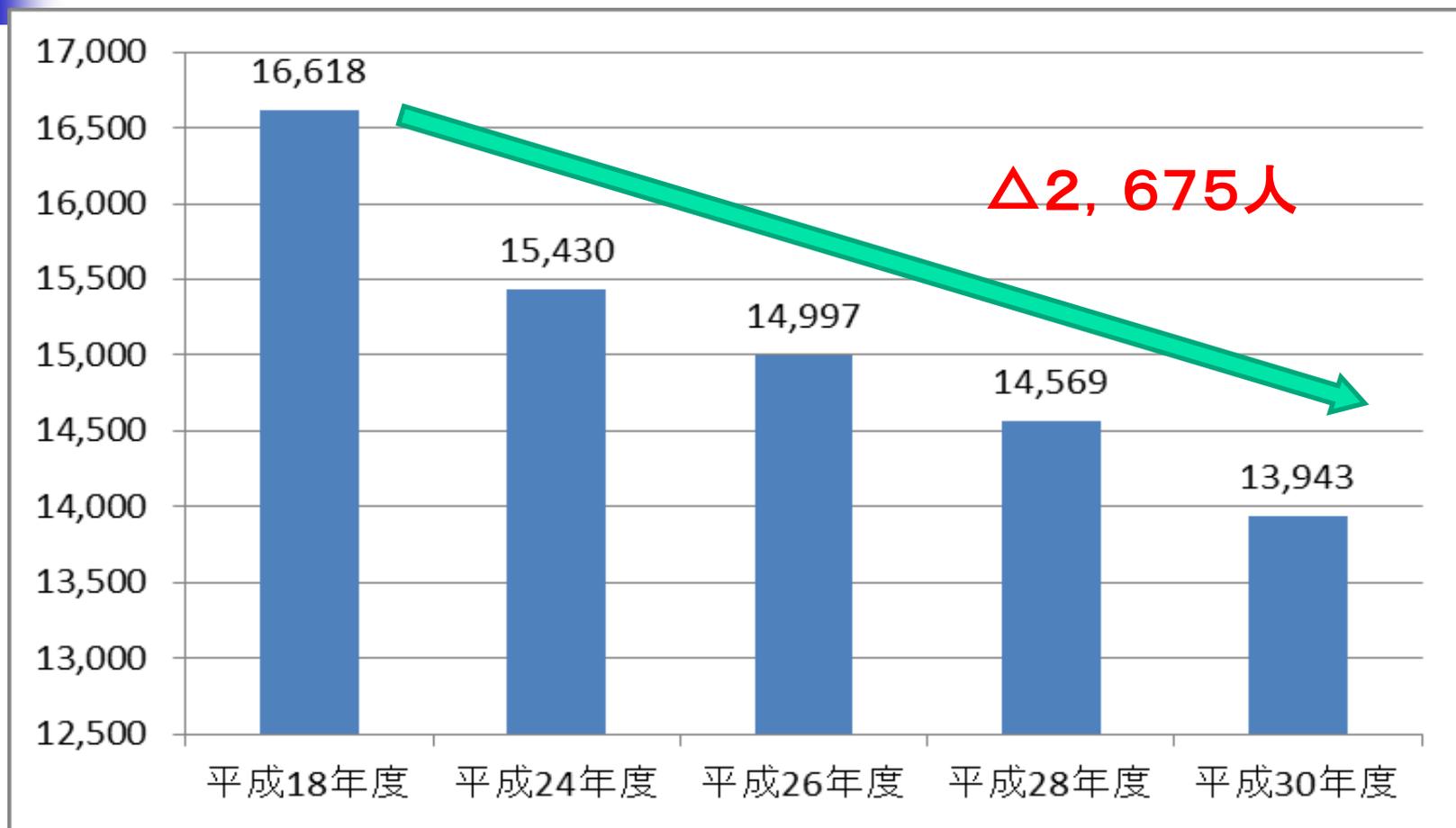
白鷹町の概要

(平成30年4月1日現在)

- **総人口** 13,943人
- **65歳以上人口** 5,007人
 - 〔 65歳～74歳 2,282人 〕
 - 〔 75歳以上 2,725人 〕
- **高齢化率** 35.91%

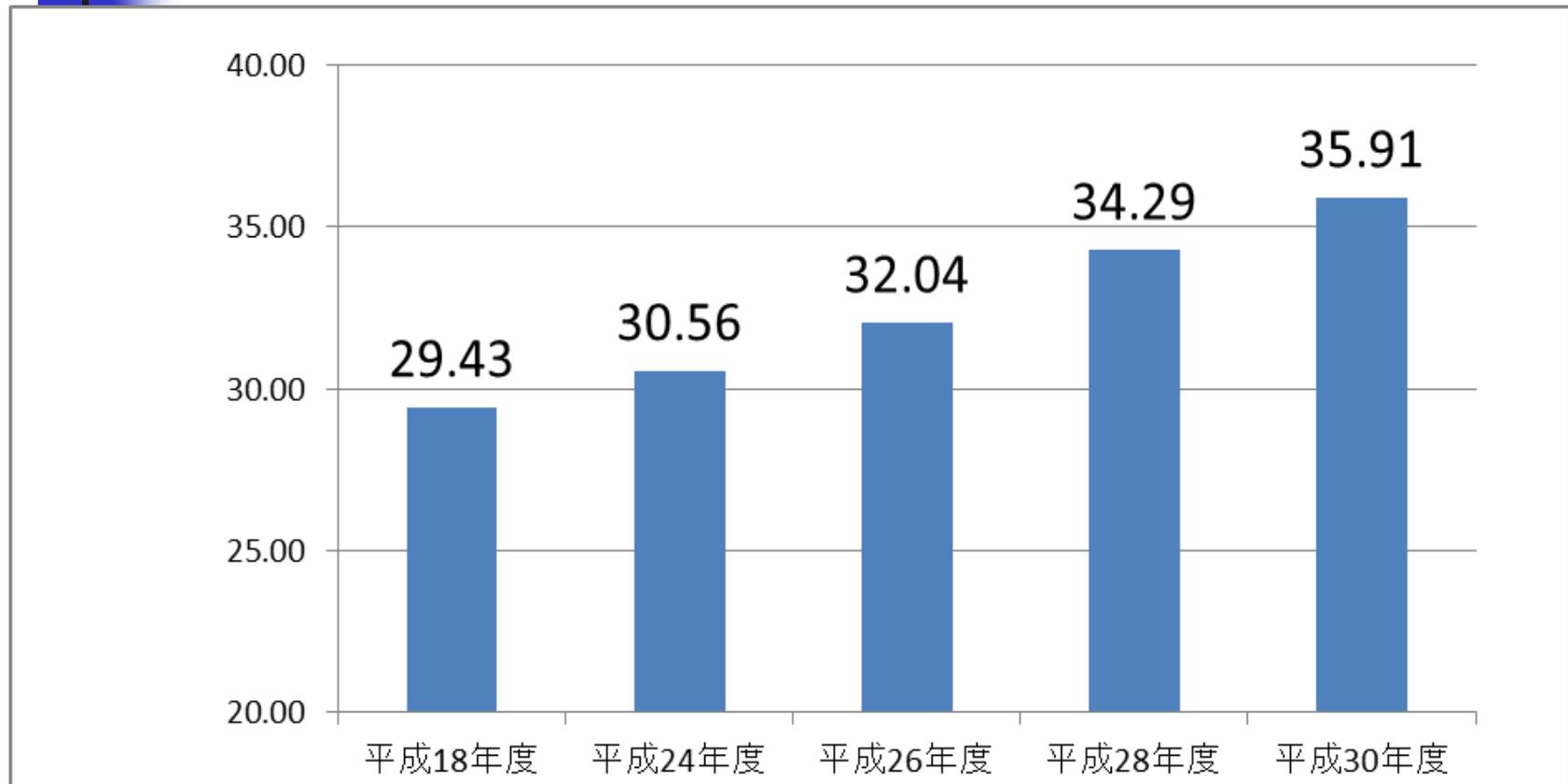
町の人口と高齢化率の推移

白鷹町の総人口(人)



町の人口と高齢化率の推移

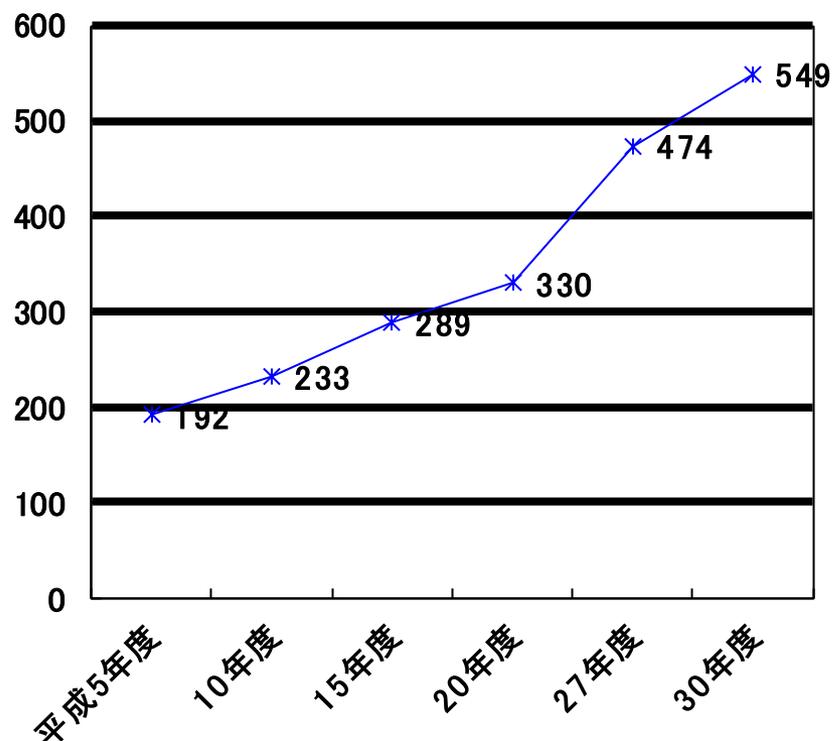
高齢化率(%)



ひとり暮らし高齢者世帯の推移

(65歳以上)

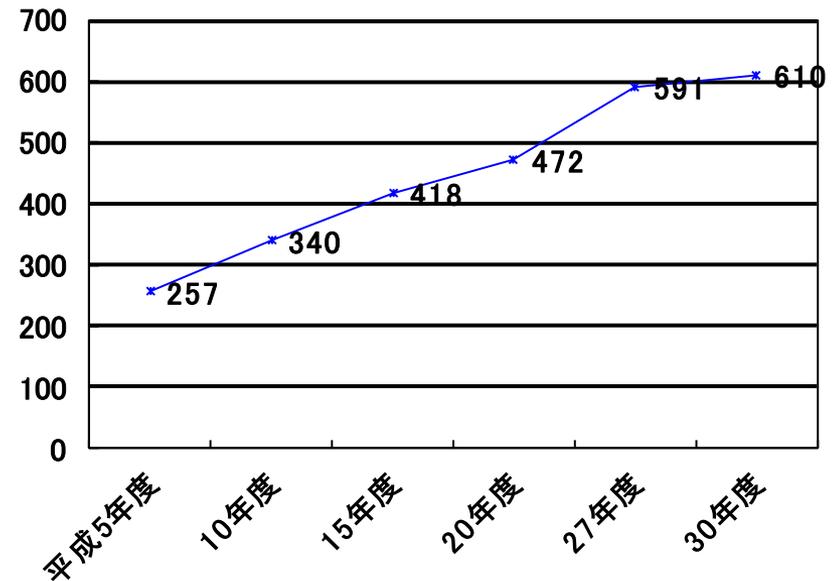
年 度	世 帯
平成5年度	192
平成10年度	233
平成15年度	289
平成20年度	330
平成27年度	474
平成30年度	549



高齢夫婦のみ世帯の推移

(夫65歳、妻60歳以上)

年 度	世 帯
平成5年度	257
平成10年度	340
平成15年度	418
平成20年度	472
平成27年度	591
平成30年度	610



白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会

(H28.3～白鷹町生活支援体制整備協議体へパワーアップ)

協議会の役割

- ・認知症に対する正しい理解を深める
- ・各組織への認知症に対する啓蒙や、研修会参加の呼びかけ
- ・徘徊高齢者を抱える家族からの協力依頼体制の整備

区長・町内長 警察 民生委員・児童委員
人権擁護委員 商工会女性部 婦人会
消防分署 健康づくり推進員
元気ニコニコ推進会
農協 郵便局



協力してくれる
機関にステッカー
を掲示し、協力
機関であることを
PRしてもらう



認知症高齢者の家族

認知症・徘徊等が
心配になったら、協
力機関に依頼し、見
守りや声かけ、連絡
をしてもらう。

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク 協議会の役割(平成19年6月設立)

- ★ 認知症に対する正しい理解を深める
- ★ 各組織への認知症に対する啓蒙や、研修会の参加の呼びかけ
- ★ 認知症高齢者を抱える家族からの協力依頼体制の整備(ネットワーク協議会の組織・個人にステッカーを掲示してもらいPRする)

= 認知症高齢者の家族 =

認知症やそれに伴う徘徊が心配になったら、協力機関に依頼し、見守りや連絡をしてもらう

平成21年度

認知症啓発紙芝居NO.1 制作 「ドタキャンばあちゃん～医者さ行く～」





白鷹町生活支援体制整備事業

■ 実施要綱制定 平成28年3月

白鷹町生活支援体制整備協議体委員構成 (16団体)

区長会代表・民生委員児童委員・人権擁護委員・長井警察署・消防署・商工会女性会・健康づくり推進員・婦人会・元気ニコニコ推進会・JA山形おきたま・荒砥郵便局・シルバー人材センター・老人クラブ・ちよぼらの会・社会福祉法人白鷹福祉会・社会福祉協議会

スタート！協議体委員会



「テーマ」現状・課題・あったらいい仕組み！何かなあ？



買い物大変だよね～



白鷹町生活支援体制整備協議体委員会 活動記録

内 容

平成28年3月31日	生活支援体制整備事業実施要綱 施行	
平成28年4月25日	(第1回) 協議体委員会	委員の委嘱書交付(H28.4.1付) ①委員長・副委員長の選任について 委員長 照井クニ氏／副委員長 平吹隆氏 ②白鷹町生活支援体制整備協議体委員会の活動について ワークショップ(地域の現状と課題について)
平成28年6月20日	紙芝居上演	荒砥小学校にて PTA母親委員会より依頼あり包括で上演
平成28年6月21日	紙芝居上演	東根小学校5年生児童
平成28年6月29日	(第2回) 協議体委員会	①八乙女げんき塾、地域サロンでの調査報告 ②ワークショップ(高齢者の買い物について) 【具体化された仕組みは関係機関に情報提供、検討項目として依頼】
平成28年9月13日	紙芝居上演	荒砥小学校5年生児童
平成28年9月20日	紙芝居上演	鮎貝小学校5年生児童
平成28年10月25日	紙芝居上演	蚕桑小学校5年生児童
平成28年12月2日	ステッカー掲示依頼	新規民生委員・児童委員に認知症高齢者「見守り支え合いステッカー」 掲示依頼
平成29年3月	啓発活動 (各地区コミセン)	各地区コミセンにて協議体委員会による「生活支援(地域支え合い)・介 護予防」についての啓発 コミセン職員、サロンボラ、民委代表に案内
平成29年5月8日	(第3回) 協議体委員会	①協議体委員会の活動について ア)平成28年度実施 コミセン啓発活動の報告 イ)平成28年度実施 高齢者の買い物に関する支援事業の検討依 頼結果 ウ)福祉型小さな拠点づくり事業について エ)平成29年度活動について 【委員会にどなたかをお呼びし話を聞き、情報を知る。】
平成29年6月	ステッカー掲示依頼	新規町内長に認知症高齢者「見守り支え合いステッカー」掲示依頼

白鷹町生活支援体制整備協議体委員会 活動記録		内 容
平成29年7月18日	紙芝居上演	鮎貝小学校5年生児童
平成29年9月22日	(第4回) 協議体委員会	1. 事業や活動を実施されての状況等報告 ①買い物環境充実支援実証実験事業(御用聞き事業) 遠藤奈津子様(えんどう商店) ②買い物ツアー 鈴木美弘様(社協) ③民生委員活動 梅津あやめ様(社協) 2. ワークショップ (状況報告をお聞きし、現状・課題・あればいい仕組みを話し合う)
平成29年10月13日	紙芝居上演	蚕桑小学校5年生児童
平成29年11月2日	(第5回) 協議体委員会	ワークショップ テーマ№1「配達以外のことの解決方法」 テーマ№2「買い物以外の生活支援」 【・買い物環境調査協議会にて地域おこし協力隊や傾聴ボランティアの同行を提案。 ・介護サービス以外のパンフレット作成を来年度検討していく。 ・役所や金融機関の手続き代行は難しい。】
平成29年11月14日	紙芝居上演	荒砥小学校5年生児童
平成29年11月21日	紙芝居上演	東根小学校5年生児童
平成29年12月1日	アンケート依頼	「見守り支え合いステッカー」掲示協力者 338名にアンケート依頼
平成30年2月16日	紙芝居上演	白鷹中学校2年生生徒



協議体としての活動

- 町産業振興課担当の

白鷹町買い物環境調査協議会へ参加
(設置要綱にも組織団体として協議体の名前が明記)

協議体メンバー5名が参加

もちろん生活支援コーディネーターも委員！

高齢者の買い物支援について協議体の意見を反映。

協議体として関係機関へ 情報提供

「高齢者の買い物支援」に関してワークショップで話し合った結果を関係機関へ情報提供

協議会会長名で関係部署の長あて文書で情報提供

- 役場企画政策課・・・デマンドタクシーの利用について高齢者が利用しやすいように、曜日・時間・予約方法などの見直し
- 役場産業振興課・・・病院、福祉センター前駐車場での移動販売の実施の検討。宅配サービスの紹介。
- 各地区コミュニティセンター・・・プチマルシェの開催。買い物ツアーの実施。
- 社会福祉協議会・・・買い物付き添いボランティア等の育成。



生活支援コーディネーターを紹介します。

町では、年齢を重ねても、住み慣れた地域で安心して生活するための生活支援や、健康寿命の延伸のための介護予防の取り組みについて、今年度から白鷹町生活支援体制整備協議体委員会を立ち上げ話し合いを行っています。

白鷹町生活支援体制整備協議体委員会の委員とともに活動し、高齢者の方や地域の方、生活支援サービスの担い手となる団体等の連絡、調整を行う生活支援コーディネーターを今年度、健康福祉課地域包括支援センターに配置しました。

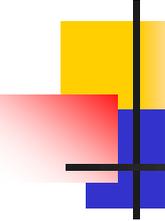
生活支援コーディネーターと共に、地域での高齢者の安全・安心した生活のため、支え合いを含めた地域づくりを進めてまいります。

生活支援コーディネーターが高齢者の方や地域の方などにお伺いし、お話をお聞きする機会があると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

よろしく
お願いします!

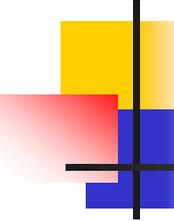


生活支援コーディネーター
黒沢 昭子 さん



生活支援コーディネーターの活動

- 「買い物弱者」についての現地調査
(直接聞き取り)
- ・平成28年5月～6月
 - ◎八乙女げんき塾(当時:二次予防通所)
高齢者 69名
 - ◎各地区いきいきサロン
高齢者 80名



生活支援コーディネーターの活動

- 平成28年度

主催/山形県

実施主体/公益財団法人山形県生涯学習文化財団

支え合いの地域づくり担い手養成講座に町民2名参加

生活支援コーディネーターは27年度受講

2名と情報共有していった



「おらだのたまり場」

トライアル企画の会場が白鷹町に！

平成28年10月15日開催

第1部 今、この時代の看取りについて

講師：白鷹町訪問看護ステーション 菅原芳子さん

第2部 和菓子を食べながら

ワクワクコミュニケーション

参加者42名

「おらだのたまり場」参加者アンケート

- これからの「支え合いの地域づくり」について
 - ・こんなふうに学べる機会があればうれしい 17名
 - ・支え合いの地域づくりを一緒に考えていきたい・情報交換したい 16名 など



トライアル第2弾

「みんなが主役の居場所づくり」

- 平成28年11月19日開催

第1部 講話「みんなが主役の居場所づくり
って〇〇〇」

講師：高畠町NPO法人かたくりの会相談役 佐藤敬子さん

第2部 「おらだのたまり場」アンケート結果報告

第3部 お茶を飲みながら、わくわくコミュニケーション

参加者29名



「みんなが主役の居場所づくり」

参加者アンケート

- ・小さな居場所があちこちに出来るようにされればいいなあ、と思います。
- ・エプロンのない関係づくりを実現したい。
- ・今は夫と一緒になので助け合いながら出来るが、ふと一人になった時のことを考えると多くの人とふれあいが出来ればいいと思います。人とおしゃべりすることが何より。

「みんなが主役の居場所づくり」

■ 平成29年2月17日午後1時30分～3時30分

第1部 講話「白鷹町の高齢者の現状とこれからの課題について」

講師 白鷹町地域包括支援センター 永沢照美

第2部 お茶を飲みながら、ワイワイがやがやと



参加者12名



これからどうしよう？

- いままでトライアルで「みんなが主役の居場所づくり」をしてきた。
- アンケート結果でも、居場所は必要だ。

**生活支援コーディネーターの出番！
そして、繋いだ・・・**

拠点づくりの事業へ（繋いだ）

- いま関わっているメンバーを「事務局」として位置付ける。**メンバー8名でスタート！**

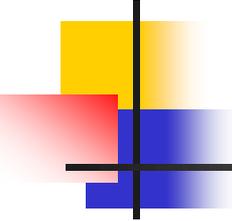
- 場所は？
- 内容は？
- 財源は？





地域包括支援センターへ (繋いだ)

- 生活支援コーディネーターが繋ぎ役として地域包括支援センターに相談。
- 場所は？まずは、コミセンに集まろうか。同時に地域の社会福祉法人へ相談。
- 内容は？気軽に取り組めるもの。
- 財源は？山形県の事業があった！



山形県福祉型小さな拠点 づくり事業

- 補助金上限100万円
- 平成29年度の場合
- 山形県50万円
- 国(地方創生交付金)25万円
- 町25万円

平成29年4月

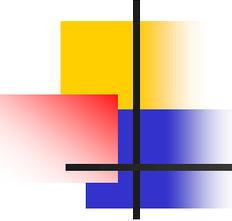
福祉型小さな拠点づくりスタート！

- 場所：蚕桑コミセン
- 内容：百歳体操と茶話会

その間に、場所探し、先進地視察

・ふれあい天童





場所は・・・ たんぽぽ

- **川西地区にこだわった！**
- **（白鷹町は最上川を挟んで川西地区と川東地区に分かれている）**
- **なぜなら、川東地区にはすでに高齢者が集える場所があった・・・**

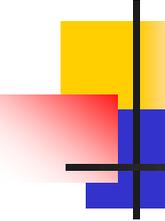
場所は・・・(6月から引っ越し)

- 障害者支援施設所有の建物を無償で貸与
- 火・金活動



「たんぽぽ」での活動





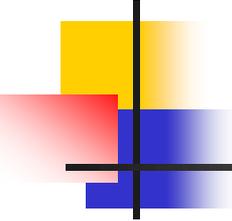
支えあう地域づくりなないろの会

- 平成29年6月

会の正式名称が決定

「支えあう地域づくり なないろの会」

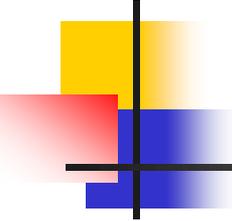
「なないろ」に込められた意味は、いろいろな人の架け橋になりたい、高齢者から赤ちゃんまでの交流、様々な活動、何にもとらわれない活動を行い、いろいろな方ににじの架け橋をかけたい願いが込められています。



白鷹町支え合いの 地域づくりフォーラム

- 平成29年10月7日(土)午後1時30分～3時30分
 - 主催 支えあう地域づくりなないろの会
 - 共催 白鷹町
 - 講師 公益財団法人 さわやか福祉財団
理事 鶴山芳子氏
NPO法人 ふれあい天童
代表理事 加藤由紀子氏
- 80名参加





平成30年4月～

- 平成29年度 福祉型小さな拠点づくり事業で準備完了！
- 平成30年度から
- 介護保険 介護予防・日常生活支援総合事業

通所型サービスBに移行

場所探し

- 白鷹町空き家バンクに問い合わせ
様々な物件について紹介してもらった。
しかし、値段が・・・場所が・・・



でも、ようやく見つけました。
(メンバー頑張った！)

「つどいの場 にじ」



白鷹町地域包括支援センター

「つどいの場にじ」パンフレット

「つどいの場 にじ」(通所型サービスB)は

地域住民が主体となった「地域における支え合い」の取り組みを通して、自立した生活を目指す介護予防の取り組みを進めています。気軽につどえる場での交流や介護予防を目的とした体操などのいろいろな活動を行います。

気がねなく、の～んびり、
 ゆ～ったり、みんなやさしく、
 ともにあたたかく過ごせる茶の間。
 みんな一緒、みんな仲間。
 そんなあたたかさにあふれた居場所

それが「つどいの場 にじ」



利用日と料金

利用できる日と時間 <small>詳しくは毎月のカレンダー</small>	毎週火・金曜日 (祝日は休み) 午前10時から12時まで 但し、食事会有一些日は2時まで	
どなたでも、利用できます。申し込みは、必要ありませんが食事会有一些の場合は、前日まで申し込みが必要です。		
利用料金	活動内容	利用料金
火曜日	茶話会のみの日 企画と茶話会の日	200円 500円
金曜日	体操と茶話会の日 体操と食事会の日	200円 500円

こんな活動が行われています

みんなで笑顔！
めいぞう百歳！
毎週の楽しみ、毎週健康に過ごそう！
みんなで一緒にあそぶのが好き！

いきいき百歳体操は、いすにすわり、テレビを見ながら行います。

楽しいヨガとにかく笑ってわらって健康づくり。

音楽に合わせて、なつかしい歌にあわせて軽い運動を行います。

いろいろな活動の後に、お茶を一杯、みんなで楽しく過ごします。



「支えあう地域づくり なないろの会」って

「支えあう地域づくり なないろの会」は、ボランティアによる支えあう地域づくりを目指し、平成29年6月23日に結成されました。

「なないろ」に込められた意味はいろいろな人の懸け橋になりたい。様々な活動を通して、身体と心の健康づくりを行うとともに、高齢者から赤ちゃんまでの様々な方の交流を目指しています。何にとらわれることのない活動を通して、いろいろな方を結び虹の架け橋になれることを目指しています。



住 所: 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 3,235
連絡先: TEL0238 - 85-0143 平泉 英子

「つどいの場 にじ」



支えあう地域づくり なないろの会

介護予防がんばっています！



体力測定もして
います。

いきいき百歳やっています！



みんなでなた巻きづくり



鮎っこクラブの子どもたちと



みんなで食べると
おいしいね!

来たついでに買い物も！





つどいの場にじ 7月予定表

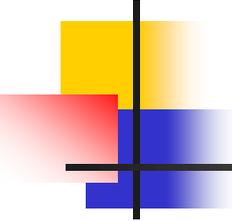
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		音楽に合わせて、身体とお口の体操 (500円)			いきいき百歳体操と茶話会 10～12時 (200円)	
8	9	10	11	12	13	14
		どっこいしょ体操となた巻きづくり (200円)			いきいき百歳体操と茶話会 10～12時 (200円)	
15	16	17	18	19	20	21
	海の日	笑いヨガ 10～12時 (500円)			いきいき百歳体操と茶話会 10～12時 (200円)	
22	23	24	25	26	27	28
		どっこいしょ体操と日本昔ばなし (200円)	準備の都合上、前日まで申し込んでください。今月は、子どもたちと一緒にカレーを作り楽しく過ご		いきいき百歳体操と食会 10～12時 (500円)	
29	30	31	1	2	3	4
		どっこいしょ体操とお口の体操 (200円)			いきいき百歳体操と茶話会	

夏休み中
放課後児童ク
ラブの子ども
たちと昼食会
をしました！

* 講師の都合などにより、活動内容が変更になる場合があります。

* 申し込みの必要はありませんが、27日のみ準備の都合上申し込みが必要となります。

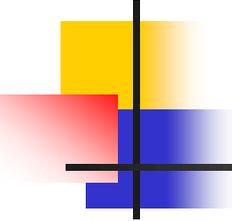
* 問い合わせ先：平泉(85-0143) ・ 佐竹(85-3765)



これからの協議体活動

- 平成30年度は、町内6地区のコミセン回り
- いきいき百歳体操を広げます。

- まず、集まること。(繋がること)
- そこから高齢者同士の情報交換。(課題の気づき)
- 助け合い活動を応援します。



地域包括ケアシステム

- 年齢を重ねても、あなたのしたい事が実現できるまちを目指して。
- 協議体と生活支援コーディネーターは、あなたのしたいこと、を支える仕組みをつくります。